

公益財団法人 現代人形劇センターは 2023 年度（令和 5 年度）事業を下記のように実施しました。

1・出版・刊行事業

2・伝統人形劇の研修及び研究講座の開催とその援助

- A. 乙女文楽・後継者育成講座の開催
人形操演講座 2回 桐竹勘十郎

3・伝統人形劇の人形修理と製作

4・国内・海外人形劇の調査

- A. カナダ ケベック州 サグネイで開かれた国際人形劇フェスティバル
Festival Internationales arts la marionette a Saguenay. に
制作担当職員 池内剛志を派遣しました。（招待参加）

5・関係団体との事業提携と後援

- A. NPO法人いいだ人形劇センターの活動に協力しました。

6・センター資料の整備

7・各種人形劇活動への参加と協力

- A. いいだ人形劇フェスタ 2023 への後援を行いました。

8・現代人形劇研究事業

9・企画制作事業

<乙女文楽>

- A. 公演と講座（依頼事業）を以下のように行いました。
- ①しんゆり芸術祭（川崎市）での公演。
2023年4月29日 川崎市アートセンター
「増補大江山酒呑童子」辰橋
「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段
浄瑠璃：竹本土佐子・竹本越孝、三味線：鶴澤駒治・鶴澤津賀花
主催：川崎市アートセンター
 - ②東海道川崎宿起立 400 年イベント
2023年4月22日「二人三番叟」 川崎区・稲毛神社
主催：川崎市
 - ③かわさき市民アカデミー地域協働講座
2023年6月29日 「川崎で55年！ひとみ座乙女文楽を知ろう」（中原区）
主催：NPO 法人かわさき市民アカデミー

④2023 パラアート TOKYO

2023年12月23日 東京芸術劇場ギャラリー

ろうの演技者が、「三番叟」の上演を展示会場内で行いました。

主催：（公財）日本チャリティ協会／2023 PARAART TOKYO 実行委員会

⑤向井響 作曲個展 「美少女革命」

2024年2月20～21日 トーキョーコンサーツラボ

乙女文楽、アンサンブル、電子音響、ビデオのための

「美少女革命 本朝廿四孝 奥庭狐火の段」

主催：向井響

B. 第13回乙女文楽公演を、川崎市内で主催しました。

2024年1月20日、21日 川崎市国際交流センター

「義経千本桜」道行初音旅

「奥州安達原」袖萩祭文の段

義太夫：竹本越孝 三味線：鶴澤津賀花、鶴澤弥々

公演数：4回

観客数：380人

助成：日本芸術文化振興基金

※公演終了後、全編、無料動画配信を行いました。

2024年4月13日～5月11日

C.乙女文楽各座合同研修講座を主催しました。

2023年9月15～16日 ひとみ座スタジオ

12月9～10日 ひとみ座スタジオ

2024年2月17日 ひとみ座スタジオ

参加劇団：ひとみ座乙女文楽、乙女文楽座(大阪)、

神奈川県下の乙女文楽グループ

<成果発表>

公開講座「乙女文楽の多様な魅力

～東西2座によるレクチャー&デモンストレーション」

2月18日 神楽坂セッションハウス

内容：講演（乙女文楽の歴史と現状）

比較上演と人形解説

「伽羅先代萩」政岡忠義の段（乙女文楽座）

「傾城恋飛脚」新口村の段と（ひとみ座乙女文楽）

共演「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段

出演劇団：乙女文楽座（大阪）、ひとみ座乙女文楽（神奈川県）

講師：林公子（近畿大学文芸学部教授）

観客数：76人

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業）、独立行政法人芸術文化振興会

D. ろう者向の普及事業を行いました。

①ろう学校ワークショップ

2023年6月16日 川崎市立ろう学校、
6月19日 千葉県立千葉聾学校、
7月21日 明晴学園(東京都品川区)

受講者数：合計 63人

②ろうの表現者のためのワークショップ

2023年8月5日、6日(連続2日) ひとみ座スタジオ
参加者 3人(各回)

助成：NHK 歳末たすけあい配分金事業(①②とも)

E. 地域交流公演とワークショップを以下のように主催しました。

①川崎市・地域交流公演「お寺で！古民家で！楽しむ 乙女文楽」

2023年10月28日 大蓮寺 本堂
10月29日 修廣寺 本堂
11月12日 澁谷農園母屋

参加者：合計約130人

助成：文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)

②川崎市・幸区地域交流公演

2023年11月7日 河原町町内会
12月2日 東小倉町内会

参加者：約100人

共同主催：川崎市幸区(市民提案協働事業)

③川崎市幸区内での学校交流ワークショップ(4校)

2023年 8月30日 幸小／9月21日 小倉小
10月17日 平間中／12月23日 御幸小

参加者数：約706人

共同主催：川崎市幸区(市民提案協働事業)

④大人向けワークショップ

1日体験コース 2024年2月4日、11日
3日連続コース 1月28日、2月4日、11日

参加者数：1日コース5人、3日コース9人

助成：文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)

F. 第16回ひとみ座乙女文楽教室を主催しました。

2023年7月26日～8月27日 ひとみ座スタジオ（全8回）

内 容：初級クラス「二人三番叟」、
上級クラス「傾城阿波の鳴門」
特別クラス「義経千本桜」道行初音旅

発表会(8月27日) 観客：45人

助 成：文化庁・伝統文化親子体験教室事業、
神奈川県マグカル展開促進補助金

G. 乙女文楽教室修了生の会による上演を行いました。

2023年9月24日 人形劇まつり in 川崎市民プラザ

9月30日 井田神社 祭礼宵宮

12月16日 乙女文楽鑑賞会 川崎市立中原図書館

2024年3月2日 特別養護老人ホーム みやうち

出演者数：のべ19人（小学生7人、中学生2人、高校生2人、大学生1人、
社会人7人）

観客数：合計360人

助 成：文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業）

<いいだ人形劇フェスタ2023への協力と参加>

A. ワークショップの企画と運営をしました。

いいだ人形劇フェスタ（8月3～6日）にて、2講座を実施しました。

<伝統人形芝居の人材育成>

A. 島根県益田市の「益田糸あやつり人形保持者会」の後継者育成プログラム

2023年7月～11月

義太夫節講座（4回）

4月15日、12月23日（各日2回）

講師 浄瑠璃・竹本越孝、三味線・鶴澤駒治

演目 「鎌倉三代記」三浦別れの段、「絵本太功記」尼崎の段

主催：（公財）しまね文化振興財団

<石川県国民文化祭・文弥人形浄瑠璃公演への協力>

A. 石川県国民文化祭・文弥人形浄瑠璃の祭典（文弥人形全国5座の競演）

以下を受託しました。

2023年10月21日、22日 白山市鶴来総合文化会館クレイン

21日 白山市2団体による公演とワークショップ

2団体・比較人形解説とワークショップのコーディネート

参加団体 東二口文弥人形浄瑠璃保存会

深瀬でくまわし保存会

22日 「シンポジウム・文弥節人形浄瑠璃の歴史と継承」への登壇（塚田千恵美）

主催：いしかわ百万石文化祭2023 白山市実行委員会ほか

10・海外交流事業

- A. ラオスの現代人形劇団とデフ・パペットシアター・ひとみの国際共同制作を主催しました。

事業名「ラオス×日本 ろう者と聴者が協同するアジアのオブジェクトシアター」

日程

2023年6月 3～9日 ラオスにて、リサーチとワークショップ

11月13～26日 日本にて、共同制作

11月26日 ワークインプログレス（成果発表）神楽坂セッションハウス

参加者：ラオス 劇団カオニャオ4人

日本 デフ・パペットシアター・ひとみ4人

零境

演出：白神ももこ、ラタナコーン・インシシェンマイ

令和5年度国際交流基金舞台芸術国際共同制作事業

11・デフ・パペットシアター・ひとみの活動

<公演>

- A. 「河の童」

全国4か所で公演しました

- ① 令和5年度文化庁文化芸術による子供育成事業—ユニバーサル公演事業（委託事業）

徳島県立阿南支援学校 日和佐分校

（あやかしを作るワークショップを行い、作った人形で公演に参加してもらいました）

- ② 飯田人形劇フェスタに参加し公演しました。

- ③ パレット大崎（宮城県） 主催：大崎地域広域行政事務組合教育委員会

- ④ 井田小学校（川崎市） 主催：井田子ども会連合会

- B. 「はこ／BOXES じいちゃんのオルゴール♪」

全国14か所で公演を行いました

- ① 令和5年度舞台芸術等総合支援事業—学校巡回公演—

愛知県・岐阜県・神奈川県・長崎県の小学校13校、15ステージ

（箱を使った事前ワークショップ付き）

- ② 石川県国民文化祭に参加し公演しました

- C. 「一寸法師とおたのしみ交流会」

全国4か所で公演しました。

- ① ティアラ江東（東京江東区） 主催：江東区文化コミュニティ財団

- ② 広島県広島市 主催：NPO法人ひゅーるぼん

- ③ 沖縄県久米島町 主催：久米島町文化協会

- ④ 小金井市 主催：小金井みんなでつくる人形劇まつり実行委員会

D. 「稲むらの火」

横浜市立聴覚特別支援学校で公演しました（1ステージ）

※出演人数、演出を1部新しく創りかえ公演しました

助成：BSmile 募金を使用

<ろう高齢者施設訪問企画> 「高齢ろう者×アートプロジェクト」

ろう者の高齢者施設の皆さんと一緒に、小さい作品を創り発表する企画です。

文化庁委託事業「令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

ファシリテーター・演出：花崎攝

① 愛知県春日井市の聴覚・ろう重複センター「桃」

ワークショップ 2023年5月～7月（全10回）

発表7月20日 愛知県春日井文化フォーラム

内容：昔話「浦島太郎」をベースに、竜宮城でのおもてなしをどうするか、物語の終わり方をどうするか等を「桃」の皆さんと一緒に考え、グループごとに道具や人形を作り、稽古を重ね発表しました。発表会場を前回より大きくし、ホールの照明も使い、一般の方たちにも多く観ていただきました。

② 京都府綾部市 いこいの村「栗の木寮」

好きな食べ物や仕事の事、遊びについての思い出を絵にかいてもらい、それぞれ説明・発表してもらいました。

③ 福岡県 聴覚・言語障害者養護老人ホーム「田尻苑」

仕事や子どもの頃の遊びの思い出を絵に描きグループごとに小さなお芝居にして発表しました。

④ 岡山県 「ももハウス」

昔好きだった遊びや、従事した仕事のこと、楽しかった外出などを絵に描き、グループごとにお芝居を作り相互に発表しました。

<ワークショップ>

A. 「文化庁文化芸術による子どもの育成事業 芸術家の派遣事業」

全国3か所の学校で行いました

（北海道高等ろう学校＝「○△□で何が出来る？」

茨城県立水戸ろう学校＝楽器を使った表現ワークショップと「雨ニモ負ケズ」

東京都立葛飾ろう学校＝手話・身体表現指導

B 「ろう者と聴者が共につくる人形劇講座」＝デフパペ研究所＝

場所：劇団稽古場

講師：ひとみ座劇団員、デフ・パペットシアター・ひとみメンバー

主催：現代人形劇センター

内容：人形の扱い方（持つ・見る・歩く等）、自分の呼吸～人形の呼吸、楽器を使った表現について、など 全6回（6回目発表）

※短い起承転結のあるストーリーを1人ずつ人形で表現する。

デフパペットの「河の童」の一部をベースに2人チームで人形で表現する。

扱う人形は目鼻手足のないもの

言葉を使わずにお互いの呼吸(息の強さ)を感じる(人形で2人一組で行う)

寄付：リコー社会貢献クラブ Freewill

C, 「ろう者の表現について考える jn 川崎」

場所：白いハコ（川崎市）

主催：現代人形劇センター

内容：実際にろうの表現者として活動するゲスト講師と共に、トークや実演を交えながらワークショップを通しろう者の表現を体験する。

助成：川崎市社会福祉協議会 福祉基金助成

D, 榎本ワークショップ

場所：渋谷ギャラリー

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館

内容：ギャラリーにある作品を見て感じたことを身体をつかって表現してみる

<その他>

A. 日本ろう者劇団他との共同創作プロジェクトに、メンバーが参加しました。

会 場：トット文化会館（東京都品川区）

進行・演出： 小野寺修二

参加メンバー： 榎本トオル、

主 催： 社会福祉法人トット基金

B. 榎本講演会

場所：品川学園

小学部の子どもたちに、デフ・パペットシアター・ひとみの活動・榎本の生い立ちや体験などを話し、質問を受けるなど交流をしました。

C. 「デフパペットシアターひとみニュース」を発行しました。

(年4回。WEB掲載のみ)

13・建物賃貸事業

14・グッズ販売事業

15・その他、定款に定められた事業の推進